

学校運営協議会記録

第2回 学校運営協議会		令和6年 9月 20日 金曜日
内 容	1 会長あいさつ 2 参加者紹介 3 コミュニティ・スクール先進地視察報告 4 講話 5 協議 6 閉会あいさつ	
名前	内 容	
教頭	○コミュニティ・スクール先進地視察報告（教頭）※別紙資料あり 【浅口市立鴨方東小】 <ul style="list-style-type: none"> ・堅苦しくない ・すぐに誰かが反応を返す ・やりたいことをすぐ述べる ・教育活動を理解している ・前向きな意見が出る。 ・学校主体→地域主体 ・5～6年かけて今のような形になってきた ・大人が一生懸命に子どものために働く ・全校児童302名 	
講師 （アドバイザー）	○「ふるさとを想う…」 <u>はじめに…</u> 空き家が多くなってきた。人が少なくなってきた。隣人との距離が物理的に遠くなった。 <u>1. ふるさとの今、そしてこれから</u> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会=成熟社会（子どもたちに伝えられるものをもった人が多い社会） ・私たちを取り囲む切実な「課題」⇒人口減（流失）・高齢化・少子化？ →今までできていたことが、できなくなる人・コトが増えていく （運転・買い物・通院・ゴミ出し等） →一人の負担が大きくなる社会 （自助・自治機能が低下） →物理的距離の拡大により心理的距離が拡大 →納税者が減少していく社会 （財政支出が増大していく社会、公助機能の低下） →在るものが失われていく社会 （学校…統廃合、公民館…閉館、地域拠点の喪失、コミュニティの劣化） →ないものが生まれてくる社会 （高度情報化、技術革新、仕事、グローバル化等に伴う教育内容の変化） 「ここには なぁ～もなか！こがんとこ住まれん！」→<u>誇りの空洞化</u> ・「ソトメ ドウナル？ ソトメ ドウシタイ？」 …帰れないまちを「ふるさと」と呼び 何もない場所を「我が家」と呼ぶ… たくさんの人がいるのではなく 独りがいっぱいいるまち <子どもと大人で議論したいこと> <ul style="list-style-type: none"> ・近未来の「ふるさとソトメ」はどうなるでしょう？ ・今、子どもたちは、「ふるさとソトメ」をどのように語るのでしょうか？ 	

学校運営協議会記録

	<ul style="list-style-type: none"> ・今、大人たちは、「ふるさとソトメ」をどのように語って(伝えて)いるのでしょうか？ ・地元出身の教員ばかりではない中、どのようにふるさと教育を展開するのでしょうか。 <p>2. ふるさと教育の日常性（「基準」を育む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間 時間 人間 三つの「縁」と三つの「間」の総和としてのふるさと ・地域【大人たち】 我が家【親たち】 母校【教師たち】がつながる教育 ・子どもの存在が地域を支えている（元気にしている） ・社会総がかりの教育が必要 ・「この学校でよかった。この先生でよかった。」がないと、ふるさと教育は成立しない。 ・小佐々地区の実践 自治協議会 海光る学園（CS）⇔地域学校協働本部 連絡 ⇕ 調整 <p>〇〇学校 CS ディレクター⇔ 地域コーディネーター（つなぐ役割） ⇔ ヒト</p> <p>3. 地域の力を再結集するために…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近未来を、近未来のふるさとを思い描きながら ・我が地域の実情（体力）に思いをはせながら ・自分たちの地域のことは、自分たちの力で取り組めるように（共助・自助） ・様々な世代や立場の人々が集まって ・小学校区 公民館区の小さな拠点をつくって ・命にかかわる切実な問題を中心にして（防災、感染症等） ・お金が必要な取組は長続きしない→持続可能な取組を <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「何かひとつ 動かしてみることから… 変えてみることから…」 はじめる一歩 つなげる一歩 でも、残された時間は決して多くない…</p> </div>
教頭	<p>○協議</p> <p>(1) 学校評価内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価項目はこれでよいか？ → 異議なし
A委員	<p>(2) 各委員からの連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角力灘サンセットクルージング（10月19日 16時～19時） ・4年後 姉妹都市50周年を迎える 子どもたちにも何か経験させたい
B委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外海文化市（11月3日）
C委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学童では、外になかなか出られない状況の中、出前講座、恐竜博物館見学等を実施した。 ・10月11日 県庁にてプレゼン ぜひご参加を

学校運営協議会記録

教頭	<p>(3) 今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回 11月 長崎大学よりアドバイザーの先生来校 ・第4回 令和6年度総括 及び 令和7年度の承認について ・11月15日 ふるさと遠足実施 ・11月18日 アウトリーチコンサート (保護者・地域参観可能) ・12月8日 そとめっ子発表会
教頭	<p>(4) 次回 (第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月22日 (金) 18時～
校長	<p><校長より></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと遠足…ふるさとの名所と人がどのように関わっているか この地域にどんな宗教、文化が根付いているのか 名所の環境をどのように維持してくか。
副会長	<p>○閉会あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の難しい課題 ・(委員の方はたくさん役をもっている中で) これ以上何ができるか →委員だけではなく、住民をどう巻き込むか ・10年、20年先のことを考えて

